

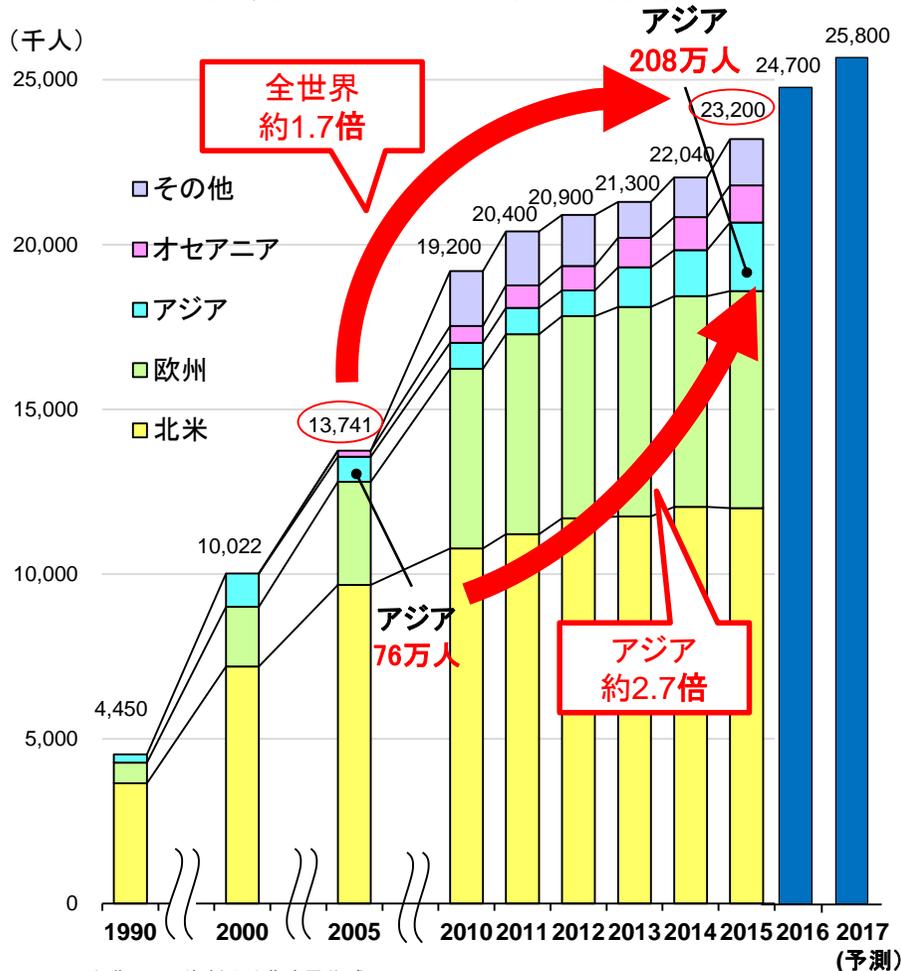
クルーズ振興をめぐる最近の動向

平成30年3月20日
四国地方整備局 港湾空港部

世界のクルーズ人口の推移

- 2017年の世界のクルーズ人口は2,580万人と予想されており、近年急速に増加中。
- 中でもアジアのクルーズ人口は2005年(76万人)と2015年(208万人)を比較すると、約2.7倍と特に大きな伸びを示しており、将来的にも更なる増加が見込まれている。

世界のクルーズ人口の推移



出典：CLIA資料より港湾局作成。
 ※ 2011年以前のアジア数値はCLIAによる推定値。2017年は予測値。

将来のアジアのクルーズ人口の見込み

中国政府：
 中国のクルーズ旅客数は、2013年から年平均33%で増加し、2020年までに450万人に達する
 (出典)中国交通运输部「クルーズ運輸業の健全な発展の持続促進に関する指導意見(2014.3.18)」

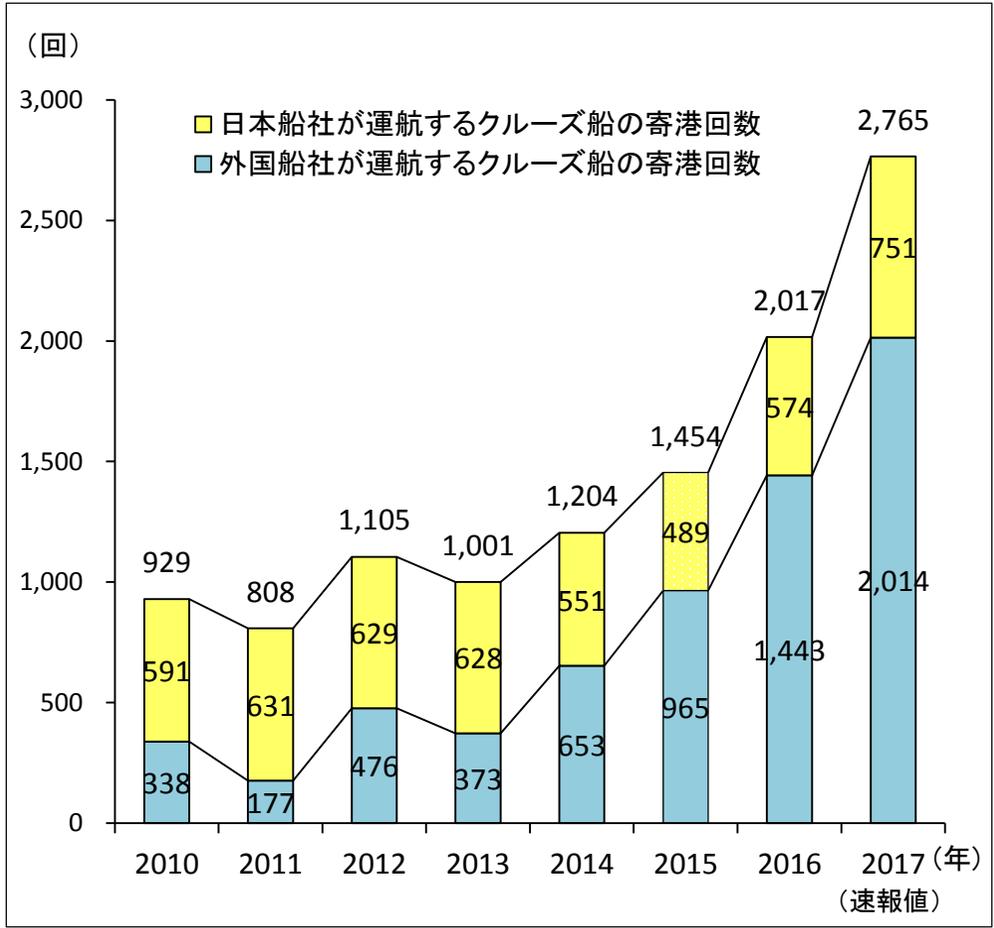
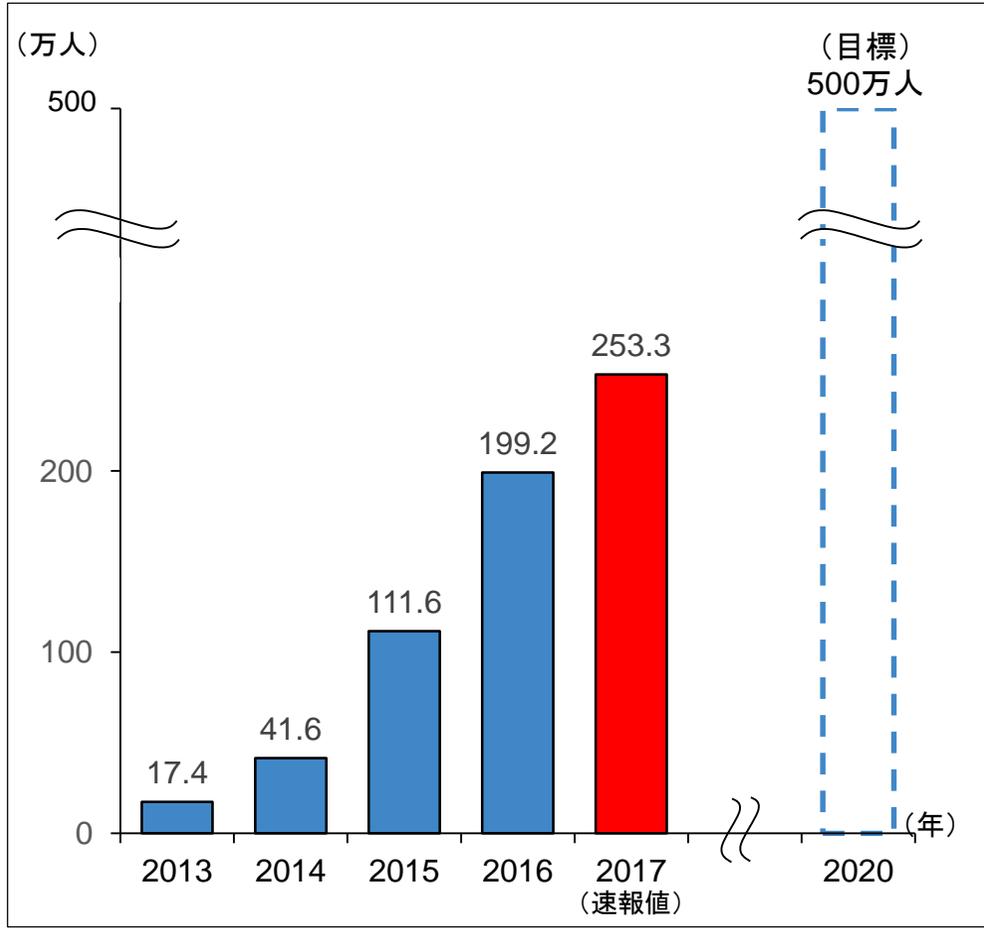
Seatrade Asia Pacific Cruise Congress (2016年10月、上海)におけるMSC中華圏代表Helen HUANG氏の発言：
 CLIAが、2015年に100万人に近くであった中国のクルーズ人口が、2020年までに450万人に達すると予測していることについて、「簡単なことではないが、中国では可能。」
 (出典) Seatrade Asia Pacific Cruise Congress HP (2016.10.13)

カーニバル社のAlan Buckelew氏(当時COO、現CIO)：
 中国のクルーズ人口が2020年までに500万人に達する
 (出典)ザ・ウォール・ストリート・ジャーナル電子記事(2015.1.21)

クルーズ船の寄港に関する状況

○2017年の訪日クルーズ旅客数は前年比27.2%増の253.3万人、我が国港湾への寄港回数は前年比37.1%増の2,765回(外国船社2,014回、日本船社751回)となり、いずれも過去最高。

※クルーズ:レジャーを目的とした船旅で宿泊を伴うもの



注1) 法務省入国管理局の集計による外国人入国者数で概数(乗員除く)。
 注2) 1回のクルーズで複数の港に寄港するクルーズ船の外国人旅客についても、(各港で重複して計上するのではなく)1人の入国として計上している。

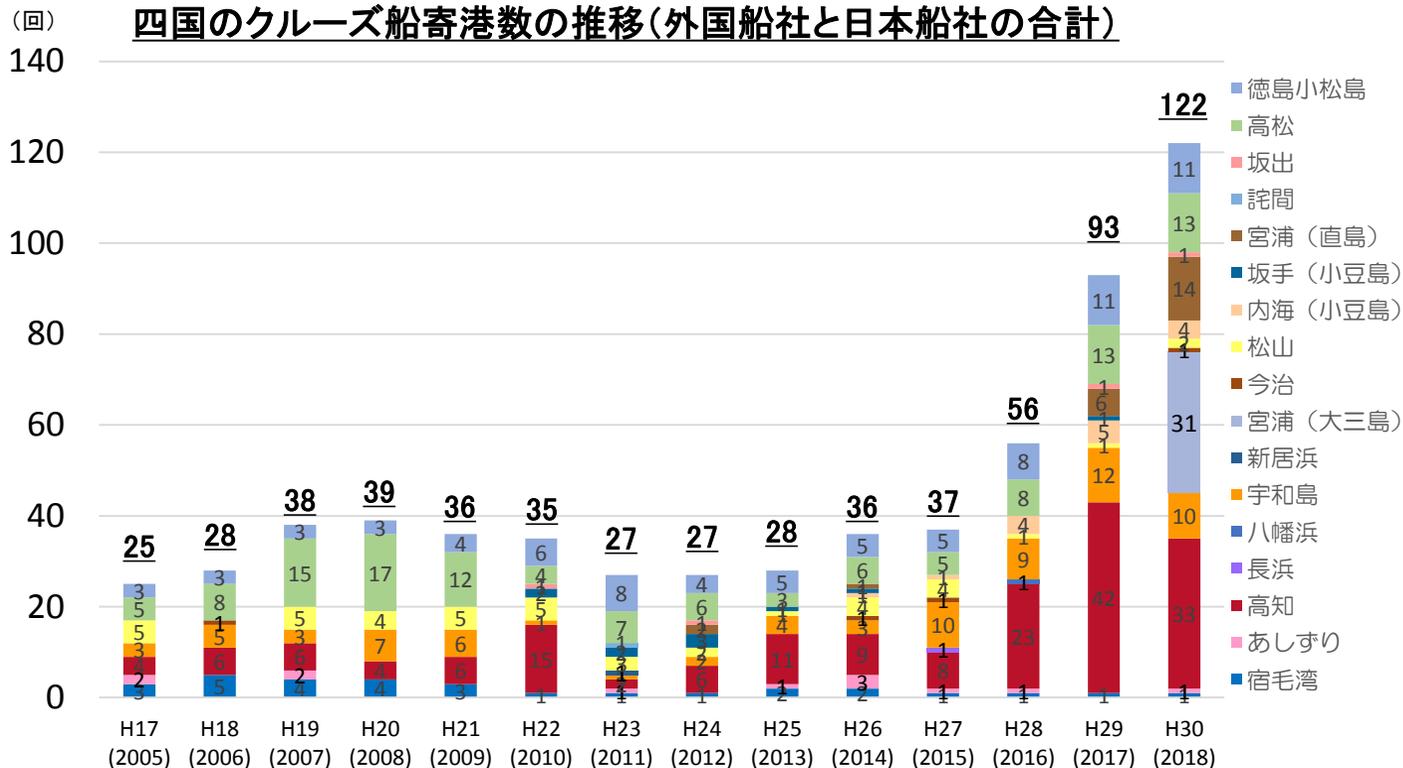
注) 2017年の値は、港湾管理者からの聞き取りによる速報値であり、今後、変動する可能性がある

四国の港湾へのクルーズ船寄港状況

○四国の港湾においてクルーズ船の寄港が急増。平成28年は56回であり、平成29年は過去最高の93回(前年比1.66倍)であった。クルーズ船による訪日乗降客は、平成29年は約95,700人(注)(前年比1.72倍)。

○平成30年の寄港予定数は122回の見込み(平成30年3月2日現在)。

四国のクルーズ船寄港数の推移(外国船社と日本船社の合計)



2017.10.26「MSC Lirica」お見送り



2017.3.19「クイーン・エリザベス」寄港時高知城で行われた「抜刀道演舞」

クルーズ船により四国を訪れた訪日乗降客数(推計)

		2015年(実績)	2016年(実績)	2017年(実績)
外国人旅客数(人)	四国計(前年比)	約4,600	約55,700	約95,700 (1.72倍)

注①上記は港湾管理者への聞き取りをもとに、国土交通省四国地方整備局にて作成。

②四国の港に寄港したクルーズ船に乗船する旅客数を単純集計したもの。寄港地ごとに集計しているため、同一の旅客が複数の寄港地を訪れた場合は重複して計上している。

平成30年 四国へ寄港及び寄港予定クルーズ船一覽

入港月日	港名	船名	入港月日	港名	船名
1月2日	宮浦(大三島)	ガンツウ	5月7日	徳島小松島港	にっぽん丸(内航)
1月5日	高松	にっぽん丸(内航)	5月8日	宇和島港	ロストラル
1月5日	宮浦(直島)	ガンツウ	5月9日	宮浦(大三島)	ガンツウ
1月11日	宮浦(直島)	ガンツウ	5月9日	徳島小松島港	にっぽん丸(内航)
1月29日	高知	コスタ・ネオロマンチカ	5月12日	宮浦(大三島)	ガンツウ
2月14日	宮浦(大三島)	ガンツウ	5月12日	宇和島港	カレニアンズカイ
2月15日	宮浦(直島)	ガンツウ	5月13日	高知	MSCスプレンド
2月21日	宮浦(直島)	ガンツウ	5月14日	松山港	ばしふいっくひいなす(内航)
2月26日	宮浦(大三島)	ガンツウ	5月14日	高松	シーボーン/ジャーン
3月2日	宮浦(大三島)	ガンツウ	5月18日	宮浦(大三島)	ガンツウ
3月3日	宮浦(大三島)	ガンツウ	5月19日	高松	ロストラル
3月7日	宮浦(大三島)	ガンツウ	5月20日	宮浦(直島)	ガンツウ
3月9日	宮浦(大三島)	ガンツウ	5月21日	高知	ダイヤモンド・プリンセス
3月10日	徳島小松島港	にっぽん丸(内航)	5月23日	宮浦(大三島)	ガンツウ
3月12日	高知	コスタ・セレーナ	5月25日	内海(小豆島)	ガンツウ
3月13日	宮浦(大三島)	ガンツウ	5月25日	あしずり	にっぽん丸(内航)
3月15日	宮浦(大三島)	ガンツウ	5月26日	坂出	にっぽん丸(内航)
3月16日	高知	クイーン・エリザベス	5月28日	宮浦(大三島)	ガンツウ
3月19日	宮浦(大三島)	ガンツウ	5月30日	宮浦(大三島)	ガンツウ
3月20日	高知	飛鳥II(内航)	5月30日	高知	にっぽん丸(内航)
3月21日	宮浦(大三島)	ガンツウ	5月31日	宮浦(直島)	ガンツウ
3月24日	高松	にっぽん丸(内航)	6月4日	宮浦(大三島)	ガンツウ
3月25日	宮浦(大三島)	ガンツウ	6月4日	高知	ダイヤモンド・プリンセス
3月26日	高松	にっぽん丸(内航)	6月6日	宮浦(大三島)	ガンツウ
3月27日	宮浦(大三島)	ガンツウ	6月7日	高松	ロストラル
3月28日	松山港	カレニアンズカイ	6月7日	高知	クワンタム・オブ・ザ・シーズ
3月29日	高知	クワンタム・オブ・ザ・シーズ	6月7日	宮浦(直島)	ガンツウ
3月30日	高松	カレニアンズカイ	6月8日	高知	コスタ・ネオロマンチカ
3月31日	宮浦(大三島)	ガンツウ	6月10日	宮浦(大三島)	ガンツウ
4月2日	宇和島港	カレニアンズカイ	6月11日	宇和島港	カレニアンズカイ
4月4日	徳島小松島港	マジスティック・プリンセス	6月12日	宮浦(大三島)	ガンツウ
4月7日	高松	ばしふいっくひいなす(内航)	6月14日	内海(小豆島)	ガンツウ
4月10日	宮浦(大三島)	ガンツウ	6月17日	宇和島港	カレニアンズカイ
4月10日	高知	スター・レジェンド	6月18日	高知	コスタ・ネオロマンチカ
4月11日	宮浦(直島)	ガンツウ	6月20日	宮浦(大三島)	ガンツウ
4月12日	宇和島港	ロストラル	6月21日	宮浦(直島)	ガンツウ
4月13日	高知	マジスティック・プリンセス	6月25日	高知	マジスティック・プリンセス
4月15日	宇和島港	カレニアンズカイ	6月26日	宮浦(大三島)	ガンツウ
4月17日	高松	カレニアンズカイ	6月28日	宮浦(大三島)	ガンツウ
4月11日	宮浦(直島)	ガンツウ	6月29日	宮浦(直島)	ガンツウ
4月19日	高松	シルバー・デイスカパラ	7月10日	高知	マジスティック・プリンセス
4月19日	高知	セレブリティ・ミレニアム	8月12日	高知	ダイヤモンド・プリンセス
4月21日	宮浦(大三島)	ガンツウ	8月12日	徳島小松島港	飛鳥II(内航)
4月22日	宇和島港	ロストラル	8月13日	徳島小松島港	ダイヤモンド・プリンセス
4月22日	高知	フォーレンドム	8月13日	高松	飛鳥II(内航)
4月23日	高知	スター・レジェンド	8月14日	徳島小松島港	ばしふいっくひいなす(内航)
4月23日	宮浦(大三島)	ガンツウ	8月15日	徳島小松島港	にっぽん丸(外航)
4月18日	宮浦(直島)	ガンツウ	8月16日	高知	ポイジャー・オブ・ザ・シーズ
4月24日	宮浦(直島)	ガンツウ	8月18日	高知	ダイヤモンド・プリンセス
4月25日	高知	スター・レジェンド	8月18日	徳島小松島港	にっぽん丸(内航)
4月25日	高知	ノルウェー・ジャン・ジュエル	10月4日	高知	セレブリティ・ミレニアム
4月27日	宮浦(大三島)	ガンツウ	10月5日	高松	スター・レジェンド
4月28日	宇和島港	ロストラル	10月7日	高松	スター・レジェンド
4月29日	高知	ノルウェー・ジャン・ジュエル	10月7日	徳島小松島港	にっぽん丸(内航)
4月30日	高知	コスタ・ネオロマンチカ	10月8日	高知	ノルウェー・ジャン・ジュエル
5月1日	内海(小豆島)	ガンツウ	10月13日	今治	にっぽん丸(内航)
5月2日	徳島小松島港	ばしふいっくひいなす(内航)	10月18日	高知	セレブリティ・ミレニアム
5月6日	内海(小豆島)	ばしふいっくひいなす(内航)	10月20日	高知	アムステルダム
5月6日	宇和島港	カレニアンズカイ	10月20日	宿毛湾	ばしふいっくひいなす(内航)
5月6日	宮浦(直島)	ガンツウ	10月28日	高知	MSCスプレンド
5月7日	高知	ダイヤモンド・プリンセス	11月6日	高知	MSCスプレンド

【参考】クルーズ船 諸元比較例

平成30年 寄港予定 122回 (平成30年3月15日時点)
(参考:平成29年 寄港実績 93回)

船名/(乗客定員)	船型・同縮尺イメージ	写真
ガンツウ (日本船社) (38人)	総トン数 3,200トン  全長81.20m	
カレニアンズカイ (外国船社) (101人)	総トン数 4,200トン  全長90.60m	
ロストラル (外国船社) (264人)	総トン数 10,700トン  全長142.0m	
飛鳥II (872人) ※日本船最大	総トン数 50,142トン  全長 241.0m	
クイーン・エリザベス (外国船社) (2,081人)	総トン数 90,901トン  全長 294.0m	
クワンタム・オブ・ザ・シーズ (外国船社) (4,180人) ※四国寄港最大級	総トン数 167,800トン  全長 347.8m マスト高 62.9m 参考) 高松サンポート合同庁舎 高さ約67m	

官民連携による国際クルーズ拠点の形成の概要

○国際クルーズ拠点として国が指定した港湾において、民間による受入施設整備を促す。
 (平成29年通常国会における港湾法の一部改正により制度創設(平成29年7月8日施行)。)

<現状>

- ① 急増するクルーズ船の受入施設が不足、貨物ヤードでの旅客受入も発生
- ② クルーズツアーは1年以上前からの販売も多いが、岸壁の優先予約の仕組みがなく、ツアー造成に支障
- ③ 岸壁を長期優先使用できるなら、自ら旅客ターミナルビル等を整備する意欲を持つ船社が出現

【新たな制度の概要】

国が指定した港湾において、港湾管理者とクルーズ船社との間で、以下の内容の協定を締結できる制度等を創設。

- ・港湾管理者はクルーズ船社に岸壁の優先的な使用を認める
- ・船社は旅客施設を整備し、他社の使用も認める

受入拠点の形成を図る港湾を国が指定

- ・岸壁の整備状況、クルーズ船社との連携の度合い、クルーズ旅客の見込み数等を総合的に勘案して、国が指定

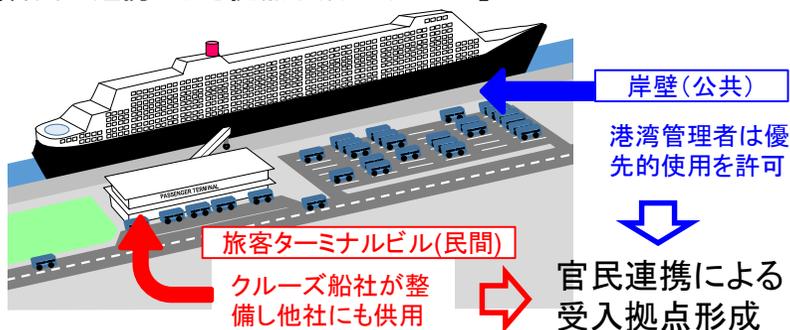
港湾管理者がクルーズ拠点の形成計画を作成

- ・将来の外航クルーズ旅客の受け入れ目標、ターミナルビル等の施設の整備概要、官民の役割分担等を内容とする受入拠点形成計画を港湾管理者が作成
 →計画に基づく工事の許可等の特例を措置

港湾管理者が民間事業者と協定を締結

- ・港湾管理者はクルーズ船社に長期の岸壁優先使用を認める
- ・クルーズ船社等は形成計画に沿って旅客施設を整備するとともに、自社の利用しない日には他社の使用を許容する
 →クルーズ船社等の地位を引き継いだ承継者にも協定の効力が及ぶ規定を創設
 →クルーズ船社等が所有する旅客施設の利用料金が著しく不適切な場合等における港湾管理者による変更命令を規定

【官民の連携による拠点形成のイメージ】



【岸壁の優先使用のイメージ】

・A社(協定船社)による予約(1年半程度前)

月	火	水	木	金	土	日
	A社		A社		A社	

・A社の予約完了後、その他の社が予約

月	火	水	木	金	土	日
B社	A社	C社	A社		A社	

【政府目標】

訪日クルーズ旅客2020年500万人に向けたクルーズ船受入れの更なる拡充(日本再興戦略2016)

「官民連携による国際クルーズ拠点形成する港湾」の状況

港湾名 (港湾管理者)	第1次募集分 (H29.1.31 選定 H29.7.26「国際旅客船拠点形成港湾」に指定)						第2次募集分 (H30.2.27 選定)
	横浜港 (横浜市)	清水港 (静岡県)	佐世保港 (佐世保市)	八代港 (熊本県)	本部港 (沖縄県)	平良港 (宮古島市)	鹿児島港 (鹿児島県)
カーニバル・ コーポレーション &plc	○		○			○	
ロイヤル・カリビアン・ クルーズ				○			○
ゲンティン香港		○			○		
郵船クルーズ	○						



- ※ カーニバル・コーポレーション&plc: 世界やアジアで半分のシェアを持つクルーズ会社グループ。傘下に、コスタ・クルーズ社、プリンセス・クルーズ社などクルーズ・ブランドを有している。
- ※ ロイヤル・カリビアン・クルーズ: オアシス・オブ・ザ・シーズなど世界最大のクルーズ船を有するクルーズ会社グループ。
- ※ ゲンティン香港: 傘下に、スタークルーズなどのクルーズ・ブランドを有し、台湾、香港等を発着するクルーズを多く運航するなど、アジアを中心に運航するクルーズ会社グループ。
- ※ 郵船クルーズ: 飛鳥IIを所有する邦船社。

[平成30年度トピック]① 2019年 ダイヤモンド・プリンセス 高松港・松山港に初寄港

- 「ダイヤモンド・プリンセス」が2019年に高松港、松山港に初寄港することが決定。
- プリンセス・クルーズ(カーニバルグループ)のダイヤモンド・プリンセスは、日本人、欧米人をターゲットとした日本(横浜・神戸)発着クルーズを展開しております。
- 2017年我が国港湾への寄港回数は、22港湾101回。(速報値)

ダイヤモンド・プリンセス DIAMOND PRINCESS



H29.5.25高知港寄港

総トン数: 115,875トン
 全長: 290.0m
 全幅: 37.50m
 喫水: 8.6m
 発着地: 横浜・神戸
 客層割合: 欧米人: 日本人 = 6:4
 乗客数: 2,706人
 乗組員数: 1,100人

大型豪華客船、初寄港へ
高松・松山19年 受け入れ体制強化

愛媛県は20日、大型豪華客船「ダイヤモンド・プリンセス」が2019年に入港するクルーズ船として、高松港と松山港に初寄港することを発表した。同船は長さ280メートル、幅37.5メートル、乗組員数は1,100人、乗客数は2,706人、国内発着の入港実績がある。愛媛県によると、欧米客が4割を占め、同船は18年4月に発表された「ダイヤモンド・プリンセス」の1回の寄港による直受受け入れ体制の強化を推進し、中村啓広知事、中村啓広知事、中村啓広知事は、道後温泉や松山城、船内での魚を、魅力に感じてもらうという期待を込める。

同県では高松市と松山市と協力し、松山港の駐留船やW・F・Iの整備など、

船の1回の寄港による直受受け入れ体制の強化を推進し、中村啓広知事は、道後温泉や松山城、船内での魚を、魅力に感じてもらうという期待を込める。

同県では高松市と松山市と協力し、松山港の駐留船やW・F・Iの整備など、

船の1回の寄港による直受受け入れ体制の強化を推進し、中村啓広知事は、道後温泉や松山城、船内での魚を、魅力に感じてもらうという期待を込める。

同県では高松市と松山市と協力し、松山港の駐留船やW・F・Iの整備など、

日本経済新聞(朝刊)
平成29年12月21日(木)39面

【参考】 2018年に予定されている日本発着クルーズの一例

きらめく春の周遊クルーズと韓国9日間
2018年4月20日～4月28日
横浜-釜山-境港-金沢-函館-青森-横浜



熊野大花火と夏の日本南国めぐり・韓国8日間
2018年8月15日～8月22日
横浜-清水-熊野-高知-釜山-八代-横浜



出典:カーニバルジャパンホームページより

[平成30年度トピック]② 瀬戸大橋開通30周年記念県民クルーズ(平成30年4月8日-10日)

○クルーズ客船「ぱしふいっく びいなす」の運航会社である日本クルーズ客船株式会社が、瀬戸大橋開通30周年記念クルーズとして、高松港からも乗船可能なクルーズ商品を特別販売。4月8日に高松港を出発し、大崎下島(広島県呉市)を經由して4月10日に神戸港に到着する。



日本経済新聞(朝刊)
平成30年2月23日(金)41面

瀬戸大橋30周年記念クルーズ船
高松港から4月に
瀬戸大橋の開通30周年を記念して、香川県は高松(高松市)から乗船するクルーズ商品について、参加者の募集を始めた。日本クルーズ客船の「ぱしふいっく びいなす」が4月8日から2泊3日で神戸に向かう。瀬戸大橋を2回くぐるルート設定にしている。同客船はこれまで高松への寄港実績はある。ただ、神戸発着プランで高松からの乗船はできなかった。今回、4月

10日の架橋30年に合わせて企画。高松で乗船後、大崎下島(広島県呉市)に寄って神戸を目指す。募集は2人1組の計20人で1人8万8千円。応募方法は任意だがきに参加希望者全員の名前・ふ

■ 県民クルーズの概要

クルーズ名:瀬戸大橋開通30周年記念県民クルーズ 2泊3日
旅行企画・実施:日本クルーズ客船株式会社
クルーズルート:4月8日(日曜日)23時 高松発
- 4月9日(月曜日)大崎下島
- 4月10日(火曜日)16時 神戸着

※高松港での乗船時間は、17時頃を予定。



■ ぱしふいっくびいなす

全長:183.4メートル
総トン:26,594トン
乗客数:620名
初就航:1998年4月
所属:日本クルーズ客船株式会社

りがな、年齢、電話番号、住所を記載し、香川県交
流推進課県民クルーズに
係あてに郵送する。締め
切りは3月8日必着とし
応募多数の場合は抽選と
なる。

[平成30年度トピック]③ 徳島県におけるクルーズ船寄港拡大を目指した取組

○平成29年12月19日、徳島県は、寄港地観光やおもてなしなど、県内各地域の持つ魅力を一体的に発信し、積極的なポートセールスを実施することで、クルーズ客船の寄港拡大に繋げることを目的として、ポートセールス連絡会を設立。

○会員は、徳島県及び徳島県内市町村の関係部署で組織。会員以外でも、必要に応じてオブザーバーとして参加を認める。

○県及び市町村の情報交換や連携した取組について議論を行うと共に、民間事業者(旅行会社等)を招いて講演会等を実施し、クルーズに関する見識を高めていくこととしている。



第1回連絡会

ポートセールス連絡会

【構成員】

<徳島県>
運輸政策課、観光政策課、国際課、南部総合県民局産業交流部及び県土整備部、西部総合県民局企画振興部及び県土整備部

<全市町村>
クルーズ客船の寄港、県内観光、おもてなしに関する業務の担当部署

第1回連絡会 (H29.12.19)

- ① 連絡会の目的
- ② 徳島県のクルーズ客船寄港状況と今後の方向性について
- ③ 意見交換

第2回連絡会 (H30.2.16)

- ① 講演(旅行会社)
- ② 事例発表
- ③ 意見交換

地元自治体職員による積極的なポートセールス(観光地案内)



徳島城博物館(徳島市)



霊山寺(鳴門市)



うだつの町並み(美馬市)

2市5町による物産販売



2017.5.26 ぐやメント・リゾート寄港時

[平成30年度トピック]④ マジェスティック・プリンセスの徳島小松島港への寄港とおもてなし

○本年4月4日、「マジェスティック・プリンセス」が徳島小松島港へ初寄港し、毎年恒例の「勝浦さくら祭り」(徳島県勝浦町)へ、台湾からのクルーズ旅客が訪問予定。

○勝浦町は、「勝浦町インバウンド受入協議会」を設立し、受入体制やおもてなしに関する準備を積極的に推進。具体的には、中国語・英語版のパンフレット作成し、寄港前に事前に船内で配布するほか、無料の無線Wi-Fiスポットを20台設置。和服を貸し出して桜の前で記念撮影をしたものをSNSで発信して頂くことによる勝浦町の魅力発信、ブルーシートに座ってお花見弁当を飲食してもらおうお花見体験、勝浦町の特産である「みかん」の試食や物産販売、舟下り・釣り堀、阿波踊り等地元団体の催し、などを実施する予定。



受入体制
勝浦町インバウンド受入協議会
構成員

- 生名ロマンの会
- NPO法人阿波勝浦井戸端塾
- 勝浦町商工会
- 東とくしま農協勝浦支所
- 勝浦町地域活性化協会
- 勝浦町

2カ国語(英語及び繁体語)表記:勝浦さくら祭り周辺MAP



日 時	寄港地	入 港	出 港
4月1日 (日)	基隆		17:00
4月2日 (月)	クルージング		
4月3日 (火)	鹿児島	7:00	17:00
4月4日 (水)	徳島小松島港	12:00	23:00
4月5日 (木)	大阪	7:00	16:00
4月6日 (金)	宮崎	9:00	17:00
4月7日 (土)	クルージング		
4月8日 (日)	基隆	9:00	

■【徳島小松島港】平成30年4月4日 マジェスティック・プリンセス寄港時のツアーバスの予定

- ① 徳島小松島港→勝浦町(ロマン街道)→美馬市脇町(うだつの町並み)→徳島小松島港
- ② 徳島小松島港→勝浦町(ロマン街道)→鳴門市(鳴門公園・渦の道)→徳島小松島港
- ③ 徳島小松島港→勝浦町(ロマン街道)→徳島小松島港(シャトルバスで往復)
- ④ 徳島小松島港→阿波おどり会館→勝浦町(ロマン街道)→徳島小松島港
- ⑤ 徳島小松島港→徳島中央公園(ミニマラソン)→勝浦町(ロマン街道)→徳島小松島港

勝浦川の支流である生名谷川に沿って、約1kmにわたり立ち並ぶ桜並木。散策しながらのお花見も楽しめ、家族連れやカップルに人気がある。近くにビッグひな祭り会場の『人形文化交流館』がある。



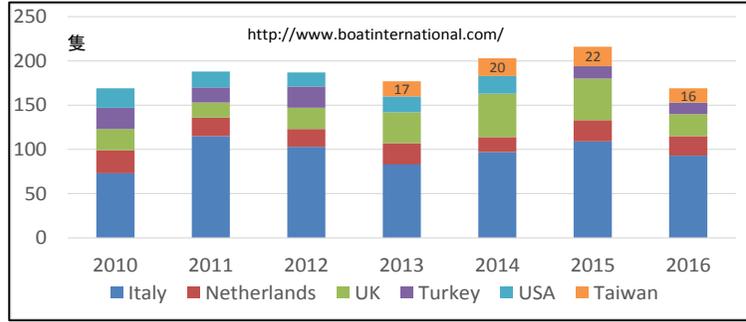
[平成30年度ピックアップ]⑤ 海外からのビジターヨットの動向について

- 数千人が乗れる大型客船の日本周遊航海が人気を集める一方、少人数で貸し切る大型ヨットやクルーザーによる航海を目的とした欧米やアジア、中国の富裕層を狙ったビジネスが注目を集めつつある。
- 瀬戸内海は風光明媚で、港から港、島から島への距離が短く、波も穏やか。海外リゾートで日本人顧客向けにヨットのチャーター事業などを手がけた専門家も広島を訪日客は欧州が圧倒的に多いので、ヨットチャーターとしては、最有力エリアとの見方。※
- 海外からのビジターヨットの中には、80ft未満(24m未満)でオーナーが航海計画をつくって自分で操船してくるもの、あるいは80ft以上で専用のクルーが操船し、オーナーはプライベートジェットで乗り込むものがある。

※(日本経済新聞 2017/8/18ホームページ記事「外国人富裕層向けの船のチャーター事業 広がる商機、課題は山積」)
海外からのビジターヨットのイメージ



船長24mを超えるヨットの建造隻数(国別)



(参考)海外の小規模な受け入れ港



対象船舶別の航路水深・航路幅員・回頭半径

※各種基準から日本港湾協会が作成

Vessel type	Length overall (Loa) 全長	呼称	Draft (d) 喫水	Beam (B) 船幅	水深	安全な回頭(直径)	スラスター等を考慮小(直径)
					>1.1d	~50FT : >3.0Loa 50FT~ : >2.0Loa	~50FT : >2.0Loa 50FT~ : >1.5Loa
Day boat (motor)	< 10m	< 30FT	< 1.1 m	< 4.0 m	> 1.2m	> 30.0m	> 20.0m
Day boat (sail)			< 2.0 m	< 4.0 m	> 2.2m		
Small cruising (motor)	10-15m	30-50FT	< 1.5 m	< 5.0 m	> 1.7m	> 45.0m	> 30.0m
Small cruising (sail)			< 3.0 m	< 5.0 m	> 3.3m		
Large cruising (motor)	15-20m	50-70FT	< 2.0 m	< 6.5 m	> 2.2m	> 40.0m	> 30.0m
Large cruising (sail)			< 3.5 m	< 6.0 m	> 3.9m		
Luxury (motor)	20-24m	70-80FT	< 2.0 m	< 7.0 m	> 2.2m	> 50.0m	> 37.5m
Luxury (sail)			< 4.0 m	< 7.0 m	> 4.4m		
Mega-yacht (motor)	24-35m	80-120FT	< 2.5 m	< 8.7 m	> 2.8m	> 70.0m	> 52.5m
Mega-yacht (sail)			< 4.7 m	< 8.7 m	> 5.2m		
Super-yacht (motor)	35-50m	120-150FT	< 3.5 m	< 10.5 m	> 3.9m	> 100.0m	> 75.0m
Super-yacht (sail)			< 6.0 m	< 10.5 m	> 6.6m		
Giga-yacht (motor)	> 50m	> 150FT	< 4.0 m	< 11.5 m	> 4.4m	> 100.0m	> 75.0m
Giga-yacht (sail)			< 6.5 m	< 11.5 m	> 7.2m		

□内の数字は「PIANC149-1 Guidelines for marina design」等による(PIANC:国際航路会議)

国際観光旅客税（仮称）の用途に関する基本方針等について

平成29年12月22日
観光立国推進閣僚会議決定

観光は、双方向の国際交流を通じた相互理解の増進はもとより、本格的な少子高齢化・人口減少を迎える中で、真に我が国の成長戦略と地方創生の大きな柱である。このような認識の下、昨年3月に策定した「明日の日本を支える観光ビジョン」においては、2020年訪日外国人旅行者数4,000万人、2030年6,000万人等の大きな目標を掲げ、観光を我が国の基幹産業へと成長させ、「観光先進国」の実現を図るため、政府一丸、官民を挙げて取り組んでいるところである。

観光ビジョンに掲げた目標の確実な達成のためには、今後さらに増加する観光需要に対し、より高次元な観光施策を展開していく必要がある。このような観点から、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の前に財源を確保し観光施策を着実に実施する必要性も踏まえ、「平成30年度税制改正の大綱」（平成29年12月22日閣議決定）において、観光促進のための税として平成31年1月7日より国際観光旅客税（仮称）を創設し、観光先進国実現に向けた観光基盤の拡充・強化を図るための恒久的な財源を確保することとしたものである。

以上を踏まえ、国際観光旅客税（仮称）の用途に関する基本方針等については、下記のとおりとする。

記

1. 国際観光旅客税（仮称）の用途に関する基本方針

(1) 訪日外国人旅行者2020年4,000万人等の目標達成に向けて、

- ① ストレスフリーで快適に旅行できる環境の整備
 - ② 我が国の多様な魅力に関する情報の入手の容易化
 - ③ 地域固有の文化、自然等を活用した観光資源の整備等による地域での体験滞在の満足度向上
- の3つの分野に国際観光旅客税（仮称）の税収（以下、「観光財源」という。）を充当する。

(2) 観光財源を充当する施策は、既存施策の財源の単なる穴埋めをするのではなく、以下の考え方を基本とする。

- ① 受益と負担の関係から負担者の納得が得られること
- ② 先進性が高く費用対効果が高い取り組みであること
- ③ 地方創生をはじめとする我が国が直面する重要な政策課題に合致すること

(3) 用途の適正性の確保

観光財源の用途の適正性を確保する観点から、受益と負担の関係が不明確な国家公務員の人件費や国際機関分担金などの経費には充てないこととする。また、観光財源を充当する3つの分野については、観光庁所管の法律を改正し、法文上使途として明記する。また、予算書においても観光財源を充当する予算を明確化する。

(4) 第三者によるチェック

無駄遣いを防止し、用途の透明性を確保する仕組みとして、行政事業レビューを最大限活用し、第三者の視点から適切なPDCAサイクルの循環を図る。

2. 平成30年度において観光財源を充当する具体的な施策・事業

平成30年度予算においては、平成31年1月7日からの徴収による総額60億円の歳入について、上記1.の基本方針に基づき、CIQ体制の整備など特に新規性・緊急性の高い以下の施策・事業に充てることとする。

	具体的使途	金額	計上官庁
① ストレスフリーで快適に旅行できる環境の整備	最新技術を活用した顔認証ゲートや税関検査場電子化ゲートの整備等によるCIQ体制の整備	20億円	法務省 財務省
	ICT等を活用した多言語対応等	11億円	観光庁
	旅行安全情報等に関する情報プラットフォームの構築	1億円	観光庁
② 我が国の多様な魅力に関する情報の入手の容易化	JNTOサイト等を活用したデジタルマーケティングの実践	13億円	観光庁
③ 観光資源の整備等による地域での体験滞在の満足度向上	文化財や国立公園等に関する多言語解説の整備	5億円	文化庁
		2.5億円	環境省
		3億円	観光庁
	訪日観光における新たな観光コンテンツ整備・VR等の最新技術を駆使した最先端観光の育成	4.5億円	観光庁

3. 平成31年度予算編成に向けた対応方針

国際観光旅客税（仮称）の税収が満年度化する平成31年度予算以降は、硬直的な予算配分とならず、観光財源を充当する具体的な施策・事業が、常に上記1.（2）の考え方を満たすものとなるべく、毎年度洗い替えが行えるよう、観光戦略実行推進タスクフォースにおいて、民間有識者の意見も踏まえつつ検討を行い、予算を編成する。

また、受益と負担の関係を明確化し、予算の総合性の確保等を図る観点から、観光財源を充当する具体的な施策・事業について、観光庁に一括計上した上で、関係省庁に移し替えて執行する。

ムスリム旅行者向けガイドブック

○ レストラン・礼拝場所等の情報発信

- ・ムスリム旅行者に配慮したレストラン、礼拝場所などを盛り込んだ**冊子を作成・配布**するとともに、**JNTOホームページ等**で紹介（平成29年3月にリニューアル）

以下からダウンロード可能

<http://muslimguide.jnto.go.jp/eng/>



受入関係者向けガイドブック

2018年3月 更新予定

○ 「ムスリムおもてなしガイドブック」

- ・ムスリム旅行者が訪日した際に、宗教的・文化的な習慣に不便を感じることがなく、**安心して快適に滞在できる環境の向上**を図るため、「ムスリムおもてなしガイドブック」を平成27年8月に作成

以下からダウンロード可能

http://www.mlit.go.jp/kankocho/news03_000137.html

- ・**食や礼拝**への配慮について、具体的で実践的な対応方法や、**英語による問い合わせ用対応文例集**を掲載
- ・関係省庁、自治体、業界団体等と連携を図りながら、飲食店、宿泊施設など約1.3万箇所へ**周知**



ピクトグラムの例



<Non-alcohol>
(ノンアルコール)



<Non-pork>
(ノンポーク)



平成30年2月27日
海 事 局 総 務 課



シ ー ト ー シ ー
「C to Seaプロジェクト」

「C to Seaプロジェクト」のシンボルマークとアンバサダー決定！！！！

国土交通省海事局は、子どもや若者をはじめ、幅広い皆さんに海や船の楽しさを知ってもらおう「C to Seaプロジェクト*」を進めています。

この度、海を応援する皆さまの輪を広げる“求心力”となる「シンボルマーク」と、海と船の魅力“ナビゲーション”する「アンバサダー」にSTU48を任命することを決定しました。

※「C to Seaプロジェクト」

- ・・・子どもや若者をはじめとして、より多くの人に海や船の楽しさを知ってもらうため、オンライン体験等の海に触れる機会の増加や、効果的な情報発信等を推進する官民一体の取組み。「海と日本プロジェクト」の一環として、国土交通省が旗振り。

シンボルマーク

様々な活動の“求心力”の役割



デザインコンセプト：

「C」と「Sea」は、生命の源の海、爽快感、開放感を表す青を、「C」と「Sea」をつなぐ「to」は、躍動感や感動を表す朱を用いて、多くの人が海とつながる楽しさを表現。

アンバサダー

海・船の楽しさを伝える
“ナビゲーション”の役割

STU48



STU48とは：

「瀬戸内Setouchi」エリアを本拠地とし「1つの海、7つの県」を股にかけるAKBグループ初の広域アイドルグループ。

【今後の動き】

- ・今後、海や船の楽しさを体感できる様々なイベントを官民一体で展開。
- ・STU48は、アンバサダー第一弾イベントとして、3月9日の「ジャパニーズターナショナルポートショー2018*」に出演予定。

*ジャパニーズターナショナルポートショー2018!については、以下までお問合せ下さい。

ジャパニーズターナショナルポートショー2018 広報担当(佐々本) sasamoto@ypcpr.com / TEL 03-3406-3411 / FAX 03-3499-0955
公式ホームページ <http://www.marine-jbia.or.jp/boatshow2018/index.html>

※ ロゴマークご使用の手続については、別途ホームページで公表する予定ですが、早急にご使用になりたい場合は、下記までお問合せ下さい。

【問い合わせ先】

海事局総務課企画室 木村、太郎田 (内線 44-422、43-172)
電話：03-5253-8111 (代表)、03-5253-8605 (直通)、FAX：03-5253-1642